

富山大学

令和3年度完成の主な 施設整備事業

令和4年6月20日
富山大学 施設企画部



UNIVERSITY
OF TOYAMA

富山大学

きんときとな大学やちゃ〜

五福キャンパス



No	完成建物
1	都市デザイン学部研究棟改修

【学内経費】

1. 都市デザイン学部研究棟改修

五福

施設概要

整備目的	都市・交通デザイン学科への転用改修
工事概要	改修 R4 1,438㎡/延床面積
事業費	約16,200万円
工期	令和3年7月～令和4年1月
整備による教育研究等への効果	工学部エリアに点在していた都市・交通デザイン学科の研究室が集約され、学生教職員における教育研究環境が改善された。

完成



着工前



工事概要 案内図

建物位置： 富山県富山市杉谷2630番地（富山大学杉谷キャンパス）

建築面積： 438.33㎡（医学部研究棟）

85.20㎡（渡り廊下）

延床面積： 2,602.40㎡（医学部研究棟、渡り廊下）

階 数： 地上6階（医学部研究棟）
地上4階（渡り廊下）

構 造： 鉄骨鉄筋コンクリート造（医学部研究棟）
： 鉄骨造（渡り廊下）

基本計画： 富山大学施設企画部施設整備課

実施設計：【建築】（株）綜企画設計
【設備】（株）新日本設備計画

工事監理： 富山大学施設企画部施設整備課

施 工：【建 築】 清水建設（株）
：【電気設備】 米沢電気工事（株）
：【機械設備】 山森工業（株）

工 期： 令和3年8月～令和4年2月

富山大学医学部研究棟

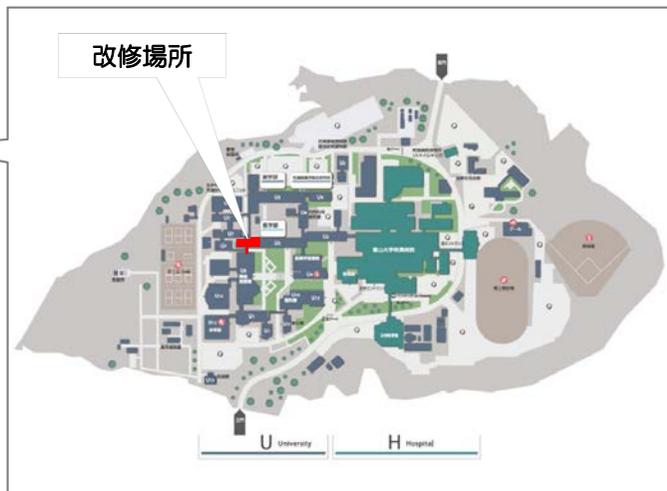
School of Medicine Building, University of Toyama



杉谷キャンパス



杉谷キャンパス 配置図



杉谷キャンパス 配置図

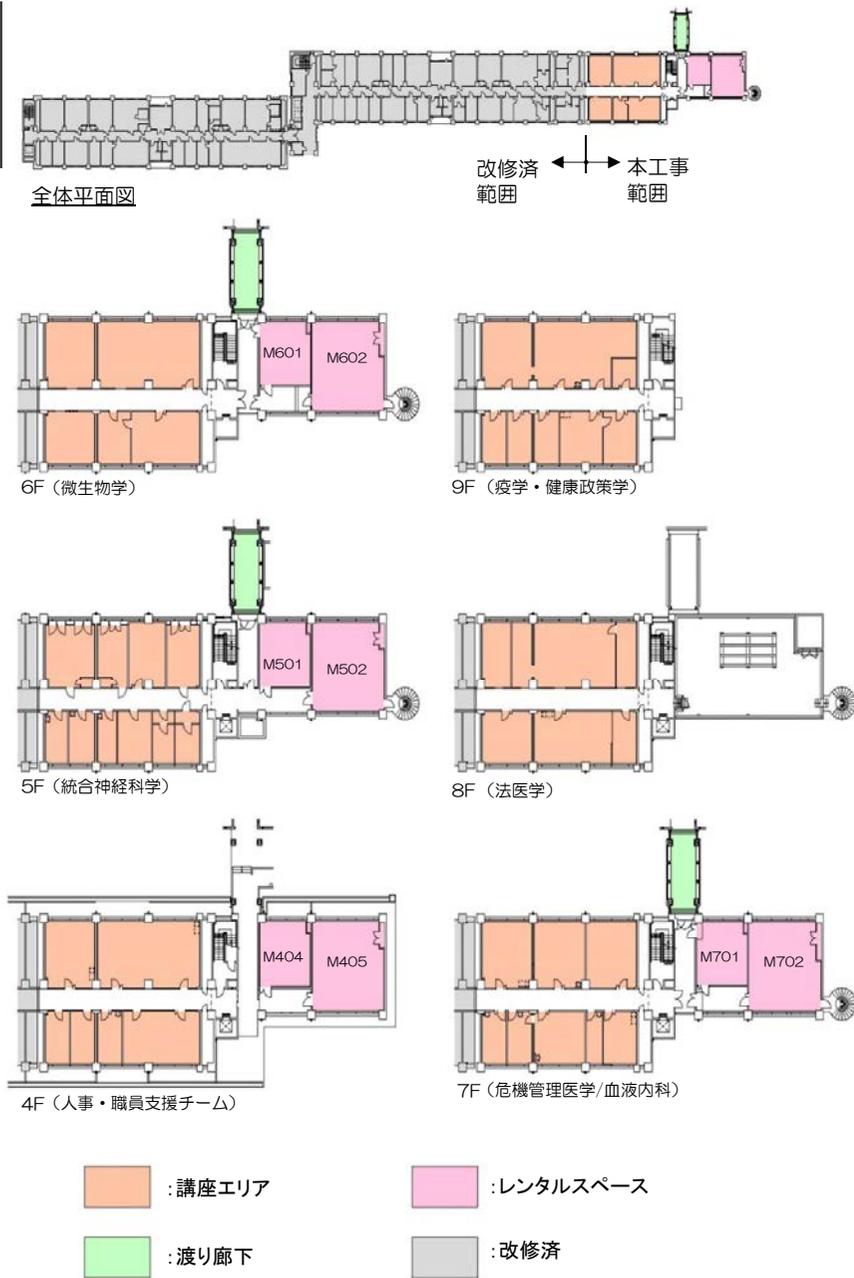


2022.2

計画概要

本事業は、医学部の入学定員増及び「富山県地域医療再生計画」に基づく寄付講座の設置、地域社会からの要請や競争的資金による教育研究の活性化に伴う教育研究スペースの狭隘解消を目的に、ライフノベーション創出型研究に対応可能な全学共同利用施設、未病の解明や脳科学の研究拠点としての機能強化を図り、老朽化が進行する既存研究棟を有効活用したリノベーションを行い、地域産業や医療機関との連携、地域を支える人材育成など地域社会のニーズに対応可能な施設として整備した。

平面計画



特色ある施設整備

【省エネルギー】

- 全館LED照明を採用
- 廊下照明は人感センサーによる照明制御を導入
- 超高効率変圧器の導入
- 中央熱源による冷温水空調及び蒸気暖房方式から個別電気式空調機への変更による空調の高効率化
- 全熱交換ユニットによる省エネ換気



廊下



電気室



医局

【レンタルスペースの整備】

- 競争的資金による教育研究に対応したスペース
- ライフノベーション創出型研究に対応可能な全学共同利用スペース



改修前



改修後：レンタルスペース

完成写真



改修前



改修後：講座エリア（セミナー室）



改修前



外観（改修後）



改修前



改修後：講座エリア（実験室）



改修前



改修後：渡り廊下

工事概要 案内図

建物位置： 富山県富山市杉谷2630番地（富山大学杉谷キャンパス）

建築面積： 220.66㎡（外来トリアージ棟）
13.50㎡（歩廊）

延床面積： 424.82㎡

階 数： 地上2階

構 造： 鉄筋コンクリート造（外来トリアージ棟）
： 鉄骨造（歩廊）

基本設計： 富山大学施設企画部施設整備課

実施設計：（株）綜企画設計

工事監理： 富山大学施設企画部施設整備課

施 工： 林建設（株）

工 期： 令和3年6月～令和4年2月

富山大学附属病院外来トリアージ棟

Outpatient Triage Building, University of Toyama



外観イメージ



杉谷キャンパス



杉谷キャンパス 配置図



杉谷キャンパス 配置図



工事計画の概要

富山県の高度医療と地域医療を担う重要拠点として、コロナ渦における院内感染のリスクを回避し、国立大学附属病院が地域医療の最後の砦としての機能・役割を発揮するとともに、大学の教育・研究機能を引き続き確保することを目的に整備計画を行った。

実施にあたっては、1階部分をトリアージスペースとして計画し、2階部分は病院機能強化のため手術室等を増設する計画とした。

これらのことから、コロナ等感染症流行期においても院内感染による病院機能低下のリスクを下げるとともに、昨今の日帰り手術増加への対応も行っている。

期待される効果

◆感染症の疑いのある患者さんの受け入れがやりやすくなる

トリアージスペースへの専用の出入口を設け、感染症の疑いの患者と一般の患者を明確に分けることで、感染症の疑いの患者を受け入れやすとした。

◆院内感染のリスク低減

感染対策の換気装置を設置することで、陰圧化し十分な換気量を確保した。トリアージスペースで感染症患者を分けることで、院内感染のリスクを低減させる。

◆災害拠点病院としての機能確保

多目的ルームは、地震等大規模災害時に怪我人等をトリアージする場所として活用することで災害の拠点病院としての能力を向上させる。

◆病院経営の健全化

外来の近くに外来手術室を確保することにより、患者・術者の利便性・効率化につながり年間手術件数の増加が期待できる。

平面図



特色ある施設整備

【省エネルギー】

- 全館LED照明を採用。
- 各更衣室・廊下は人感センサーにて照明を制御。



更衣室

- フラッシュタンク式大便器、自動水栓（発電タイプ）等の節水型衛生器具の採用。



便所、手洗い

【安全対策】

- 多目的ルーム、診察室等は専用換気扇により陰圧とすることで感染リスク低減。

- 手術室の照明、コンセントは発電機回路なので停電時でも使用可能。



多目的ルーム



診察室



手術室

建物外観・内観



外観



外観



ホール



廊下



手術ホール・準備ホール



手術室 (B)